

# 【副作用被害救済制度・年金給付の認定頻度の比較】

2021年10月現在

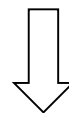
- 救済制度では、死亡・障害が残った場合の給付には、医療費等に加え、年金がある
- HPVワクチンの年金給付の認定頻度が他より高いことは、被害の深刻さを示している

## 1 HPVワクチンの年金給付の認定頻度 \*1 \*2

ワクチン	実施人員(企業推定)合計	認定人数合計	接種100万人あたり数
HPVワクチン	3,360,000人	46人 (障害46人, 死亡0人)	13.69人

(うち、定期接種112,880人からは3人障害認定。100万人あたり 26.58人)

<HPVワクチンの認定頻度の高さ>



## 2 定期接種(A類疾病)ワクチンの年金給付の認定頻度

~各最大数として試算 (平成17~令和元年度) \*1 \*2 \*3

ワクチン	期間実施人員合計	認定人数合計	接種100万人あたり数
DPT・DT	22,738,441人	25人 (障害18人, 死亡7人)	1.10人
ポリオ	10,158,210人	35人 (障害33人, 死亡2人)	3.45人
DPT-IPV	7,339,217人	4人 (障害3人, 死亡1人)	0.55人
麻しん・風しん (MR)	40,003,821人	25人 (障害22人, 死亡3人)	0.62人
日本脳炎	22,998,998人	30人 (障害24人, 死亡6人)	1.30人
結核 (BCG)	14,680,487人	4人 (障害3人, 死亡1人)	0.27人
肺炎球菌(小児) (PCV)	7,061,463人	4人 (障害2人, 死亡2人)	0.57人
Hib	7,008,150人	3人 (障害2人, 死亡1人)	0.43人
水痘	6,437,302人	3人 (障害2人, 死亡1人)	0.47人
B型肝炎	2,725,687人	0人	0.00人

定期接種(A類疾病)ワクチン平均

0.88人

(12.45倍)

(3.97倍)

(25.12倍)

(21.91倍)

(10.50倍)

(50.25倍)

(24.17倍)

(31.98倍)

(29.38倍)

—

15.64倍

(救済制度概要) 任意接種の場合 [https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/general02.html](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/general02.html)

定期接種の場合 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_kenkouhigaikyusai.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkouhigaikyusai.html)

\*1 個別決定の内容は、緊急促進事業(定期接種化以前)はPMDA、定期接種は厚労省(疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会)のホームページで公開。予防接種審査分科会は平成17年度からの個別決定内容が公開。

(<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0036.html>) ([https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-shippei\\_127696.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-shippei_127696.html))

\*2 定期接種の実施人員は、厚労省ホームページでの公表人数(現時点で令和元年度まで公表)から接種スケジュールを加味して加算。(<https://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/other/5.html>)

HPVワクチンの実施人員は、令和3年10月22日厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会と薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会との合同会議資料による。各製造販売業者が報告した推定接種人数は、サーバリックスが241万人、ガーダシルが95万人。

([https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910\\_00033.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00033.html))

\*3 複数ワクチン同時接種での認定例は全てのワクチンに1人として計上し、認定頻度を最大数として試算した。そのため、定期接種ワクチンの認定頻度は実際より高い数字になっている。